

個人投資家の皆さまへ

大和証券グループの経営戦略

2022年3月

株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）
経営企画部 IR室 副部長 三柴 基

Daiwa Securities Group Inc.

本資料は、2021年度第3四半期までの業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年3月14日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

目次

1. 大和証券グループの概要 3
 2. 中期経営計画
“Passion for the Best” 2023 概要 7
 3. 個別戦略 11
 4. 株主還元 26
- 参考資料 33

1. 大和証券グループの概要

Daiwa Securities Group Inc.

1. 大和証券グループの概要

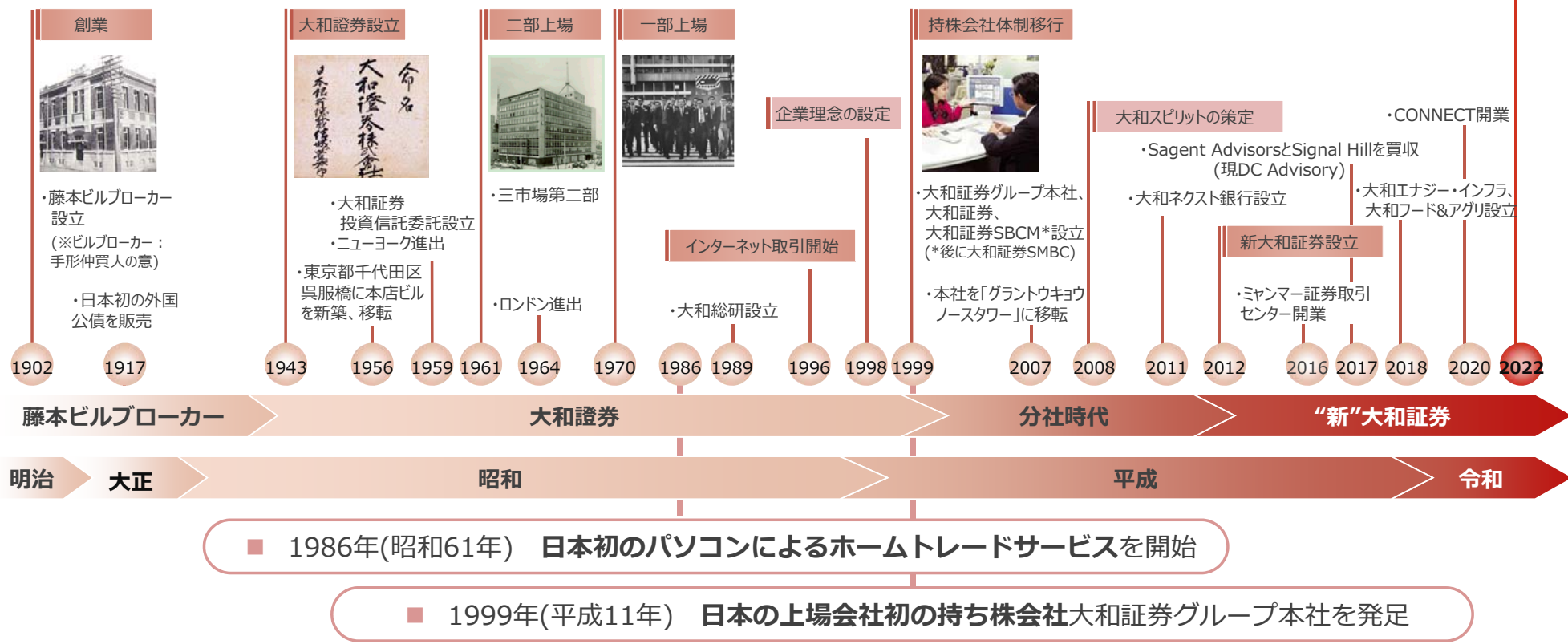
大和証券グループのあゆみ



1902年の創業以来、120年の歴史の中で培ったDNA

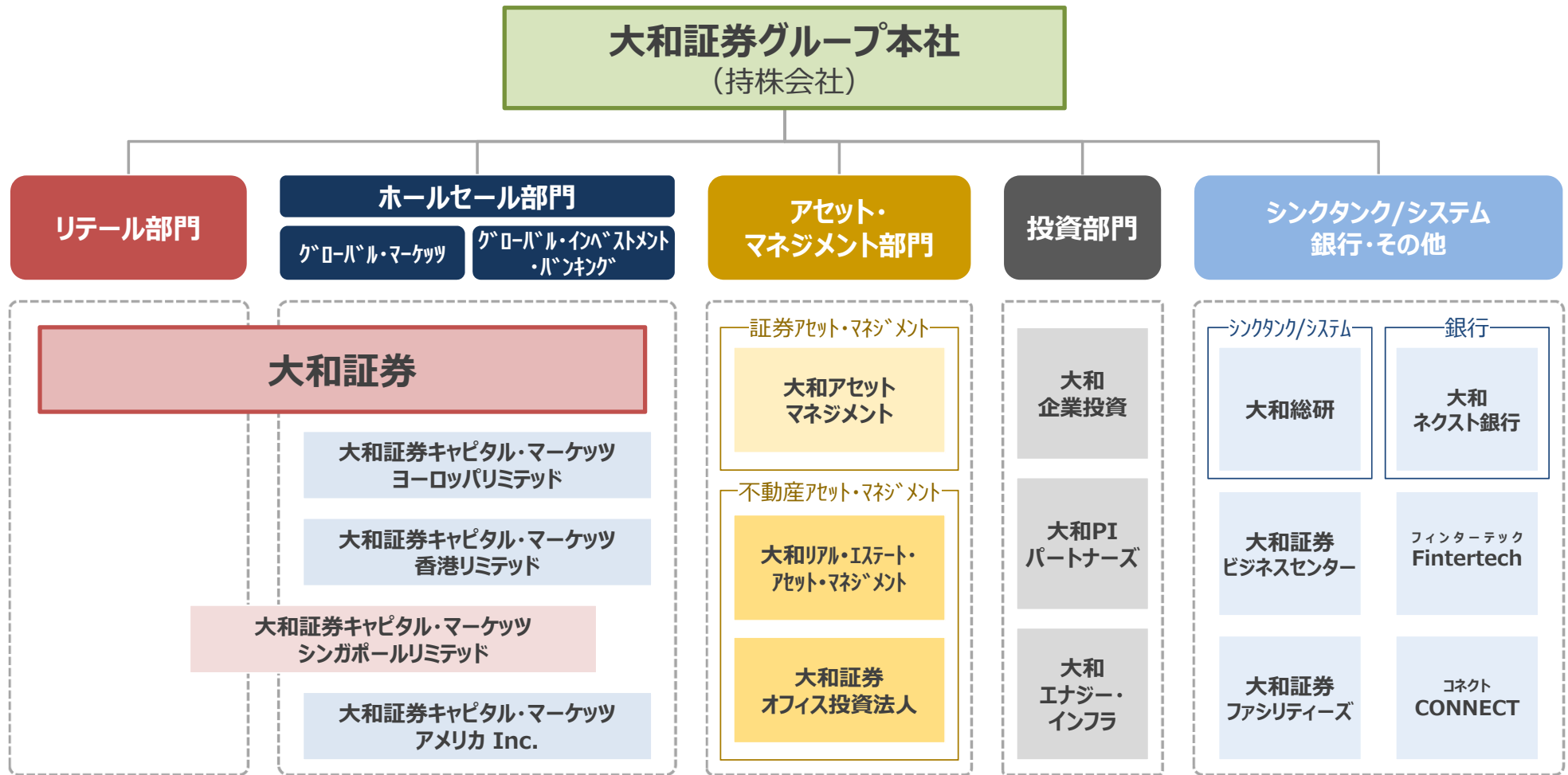
= 時代の先を行く先進的な取り組みにより、資本市場の発展に貢献

創業120年



1. 大和証券グループの概要

主要会社構成



1. 大和証券グループの概要

数字で見る大和証券グループ

PASSION
FOR THE
BEST

国内店舗数

181 店舗



預り資産
(大和証券)

75.5 兆円



従業員数^{*1}

15,229 人



CFP
認定者数

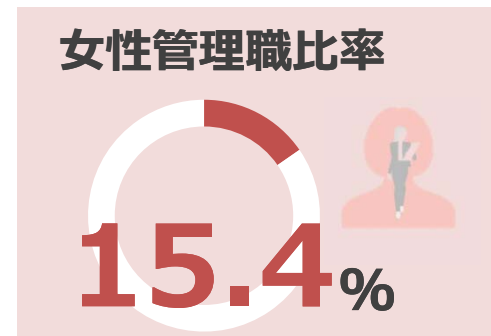
1,129 名

業界
No.1^{*2}



女性管理職比率

15.4%



グローバル拠点所在地

世界 24 カ国・地域



就職ブランドランキング^{*3}

総合
順位 3 位



時価総額

約 1.1 兆円



2. 中期経営計画 “Passion for the Best” 2023 概要

Daiwa Securities Group Inc.

中期経営計画の位置づけ

2030年に目指す姿として、経営ビジョン「2030Vision」を策定
 その達成に向けた当初3年間の戦略が、中期経営計画“Passion for the Best” 2023

中期経営計画の位置づけ



スローガン・基本方針

2021-2023年度

中期経営計画

“Passion for the Best” 2023

未来を共に創るベストパートナー
～Be with you～

基本方針



クライアントファーストと
クオリティNo.1の実現



ハイブリッド戦略による
新たな資金循環の確立



デジタルとリアルのベストミックスの追求

サステナビリティへの取組み

コーポレート戦略

財務・資本/リスクマネジメント/コンプライアンス/人事/海外

2023年度数値目標

財務・非財務KPIを設定

資産管理型ビジネス、ハイブリッド戦略の進捗に関するKPIを新たに追加

KPIおよび各KPIに関連する重点分野（2023年度達成目標）

	業績	資産管理型ビジネス	ハイブリッド戦略	財務基盤
財務 KPI	<p>ROE 10%以上</p> <p>経常利益 2,000億円以上</p>	<p>リテール部門 残高ベース収益比率 50%以上*1</p>	<p>ハイブリッド関連 経常利益 500億円以上</p> <p>ハイブリッド関連 経常利益比率 25%程度</p>	<p>連結総自己資本 規制比率 18%以上維持</p>
非財務 KPI	人材	資産管理型ビジネス	サステナビリティ	
	<p>デジタルIT人材 200名以上</p> <p>CFP/証券アナリスト 資格取得者数 3,000名以上</p>	<p>大和証券預り資産 90兆円以上</p>	<p>女性取締役比率 30%以上*2</p> <p>女性管理職比率 25%以上*3</p> <p>従業員満足度 80%以上維持</p> <p>SDGs関連ビジネス投資残高 1,500億円以上</p> <p>SDGs債リーグテーブル 3位以内</p> <p>応援定期預金残高 2,000億円以上</p>	

人生100年時代
 イノベーション
 グリーン&ソーシャル
 ダイバーシティ&インクルージョン
 サステナブル経営の基盤

3. 個別戦略

Daiwa Securities Group Inc.

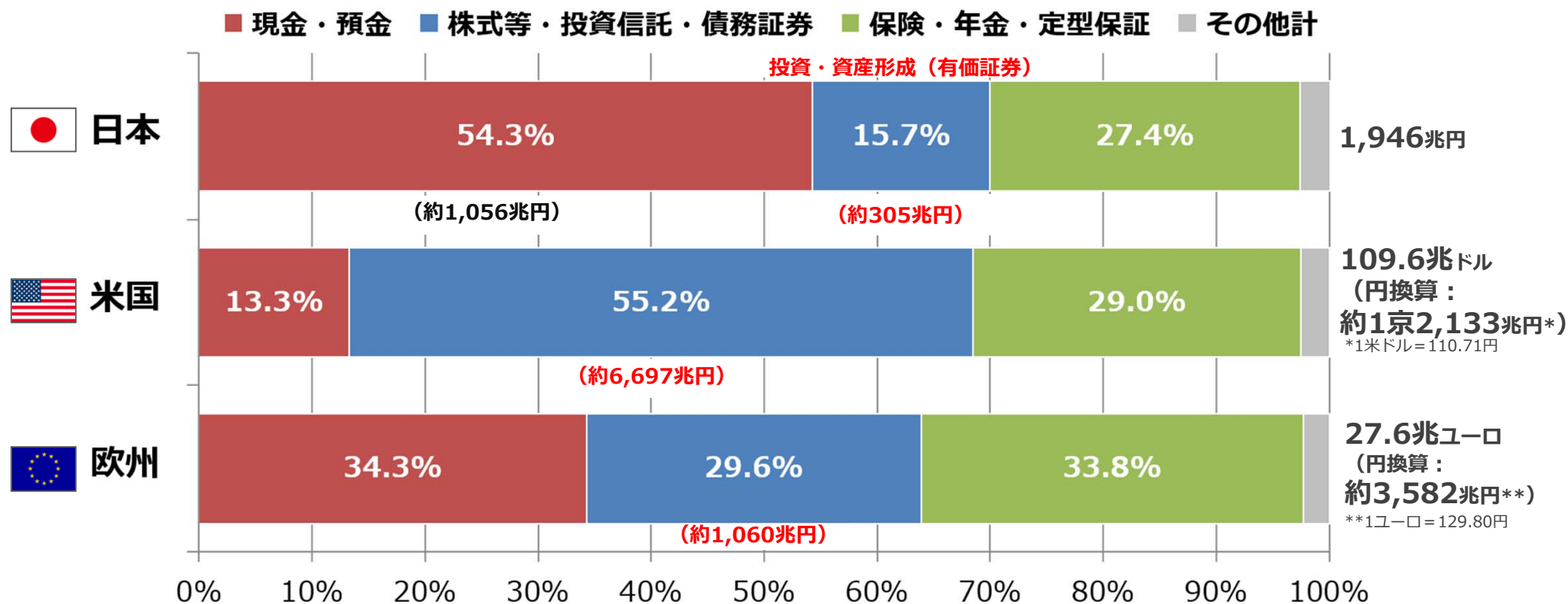
3. 個別戦略

リテール部門：マーケットポテンシャル



個人金融資産の5割以上が未だに現預金として眠っている状況

家計の金融資産の状況（日・米・欧）



3. 個別戦略



リテール部門：お客様の最善の利益追求に向けた取組み

お客様の最善の利益を追求し、資産管理型ビジネスモデルの深化を図る

① 大和版NPS®

- ✓ お客様満足度の向上
- ✓ お客様とのお取引拡大

② 資産運用プランニング

- ✓ 資産の状況を見える化

資産管理型ビジネスの深化

③ 投信フレックスプラン

- ✓ 投資信託の「買い方」の
選択肢拡充

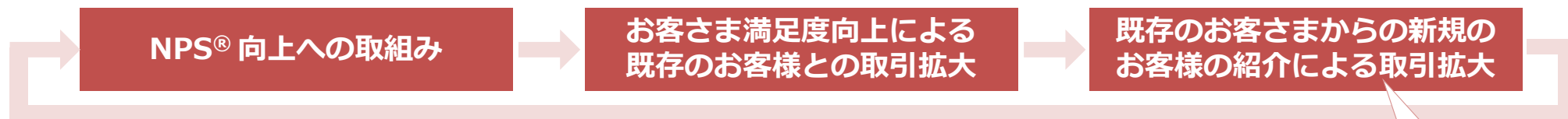
④ 外部連携強化

- ✓ 強固な顧客基盤を有する
外部企業との連携

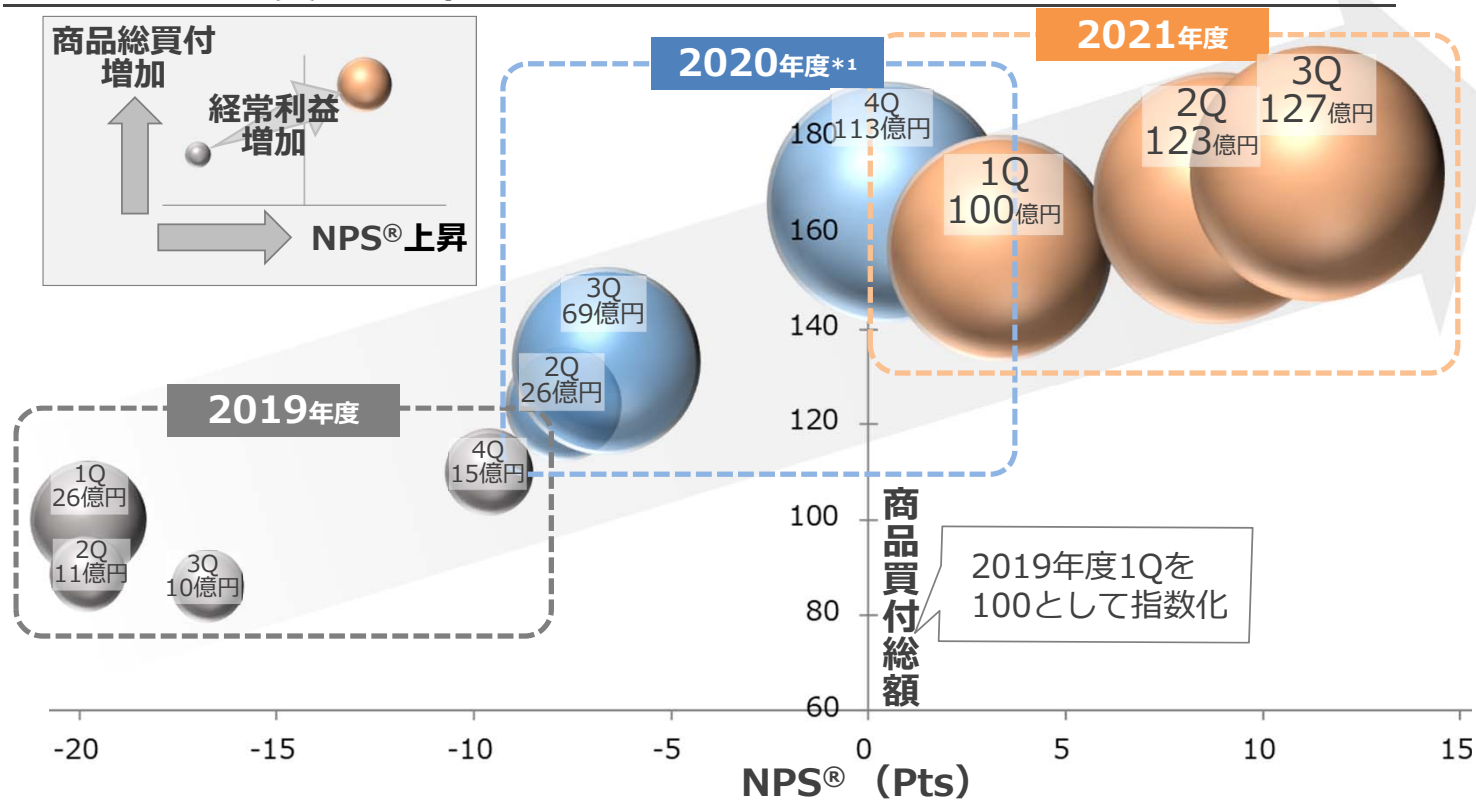
3. 個別戦略



リテール部門①：NPS®とお客様基盤拡大の好循環

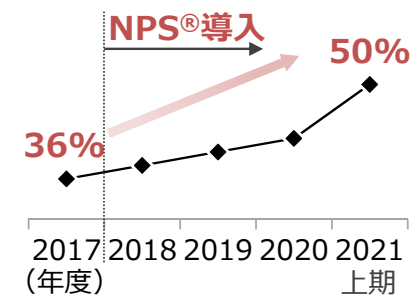


NPS® と商品買付額の関係



新規口座開設の動機に占める「紹介」の割合

(ダイワコンサルティングコース*2)

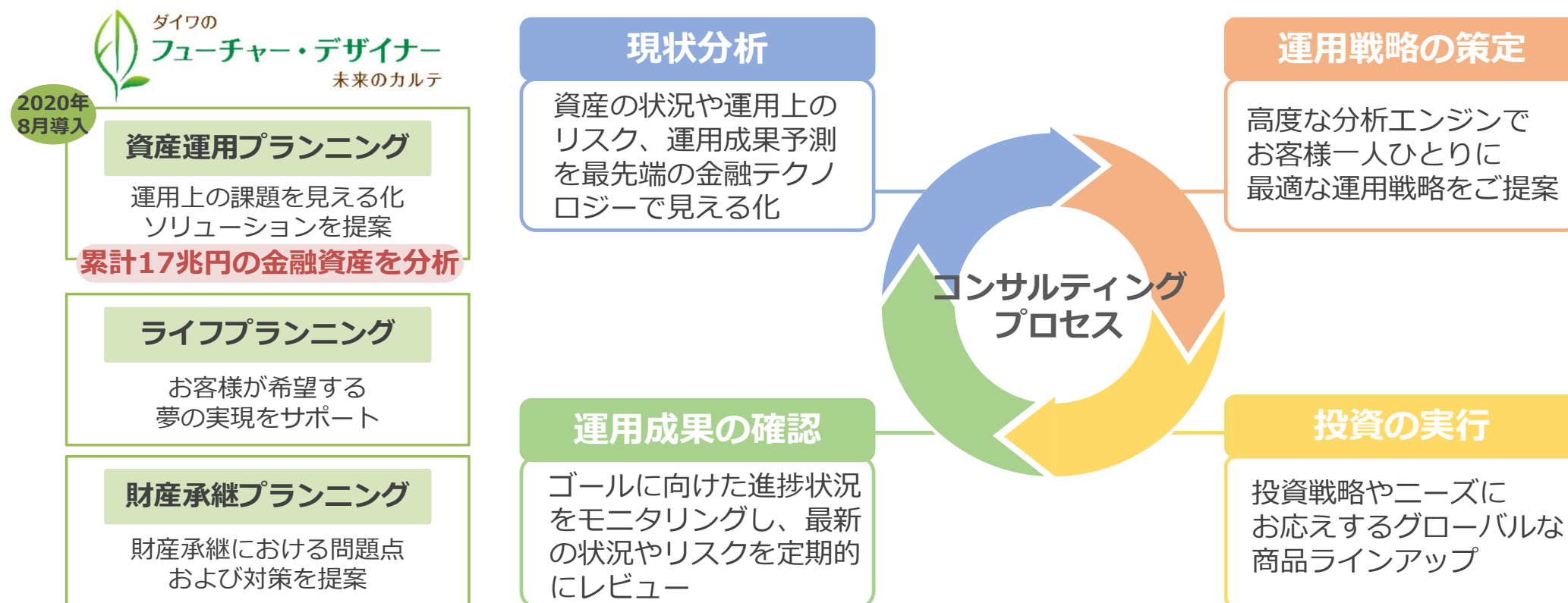


3. 個別戦略



リテール部門②：資産運用プランニング

顧客起点の包括的な資産運用コンサルティング実現のためのツールを導入
最先端の分析エンジンに基づくコンサルティングによりお客様満足度を追求



3. 個別戦略

リテール部門③：投信フレックスプラン

投信フレックスプランの導入により、提案の幅が拡大
株式投信全体の買付増加、大口取引の件数増加に寄与

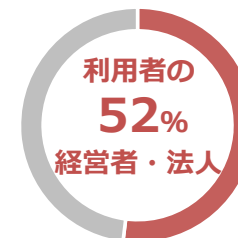
- ✓ 銘柄ごとに1注文当たり**1,000万円以上**
- ✓ 購入時手数料は**無料**
- ✓ 残高フィーを後払い（最大年率0.99%・税込、残高に応じて遞減）



お客様



投信フレックスプランの利用者



投資経験が豊富な
お客様に訴求



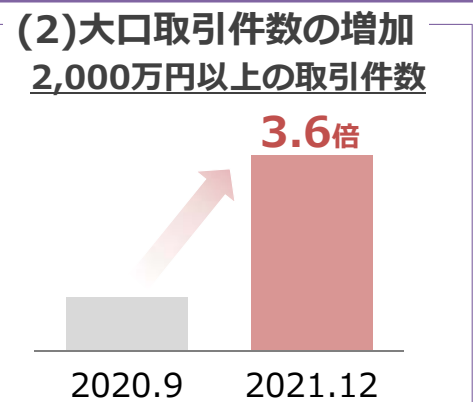
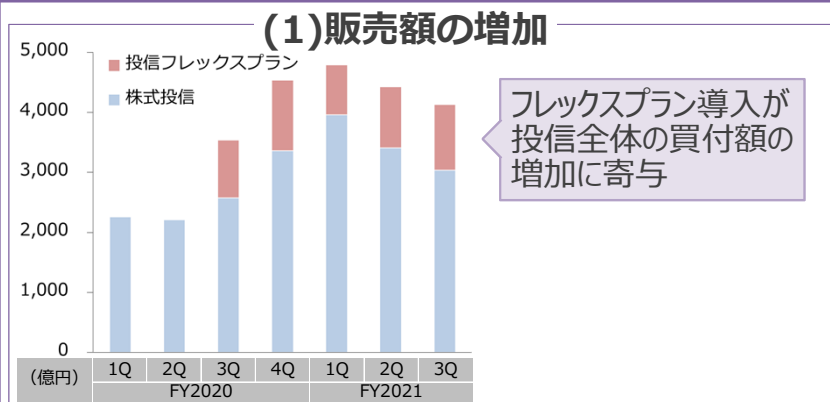
新たな
お客様に訴求

投信フレックスプランが選ばれる理由*2

購入時手数料が無料となる代わりに
「残高フィー」を後払いするという
仕組みが良い

マーケット急変時に追加で手数料を
払うことなく**フレキシブルに**
取引できる点

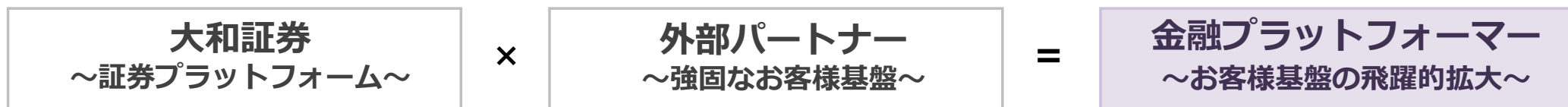
投信販売全体への波及効果



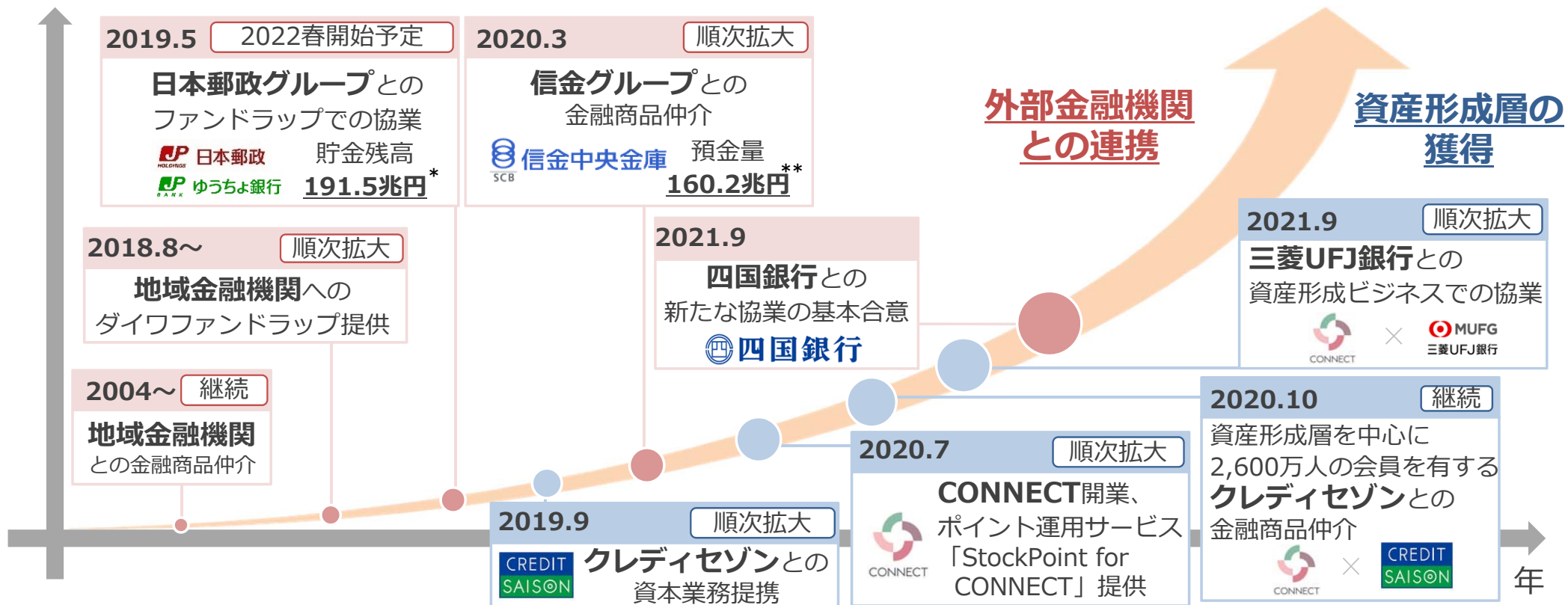
3. 個別戦略



リテール部門④：外部連携を通じたお客様基盤の飛躍的拡大



顧客基盤



3. 個別戦略



グループにおけるハイブリッドビジネスの位置づけ

不動産アセット・マネジメント、大和エネルギー・インフラ（DEI）を中心に収益を拡大し、2023年度にハイブリッド関連経常利益500億円以上を目指す



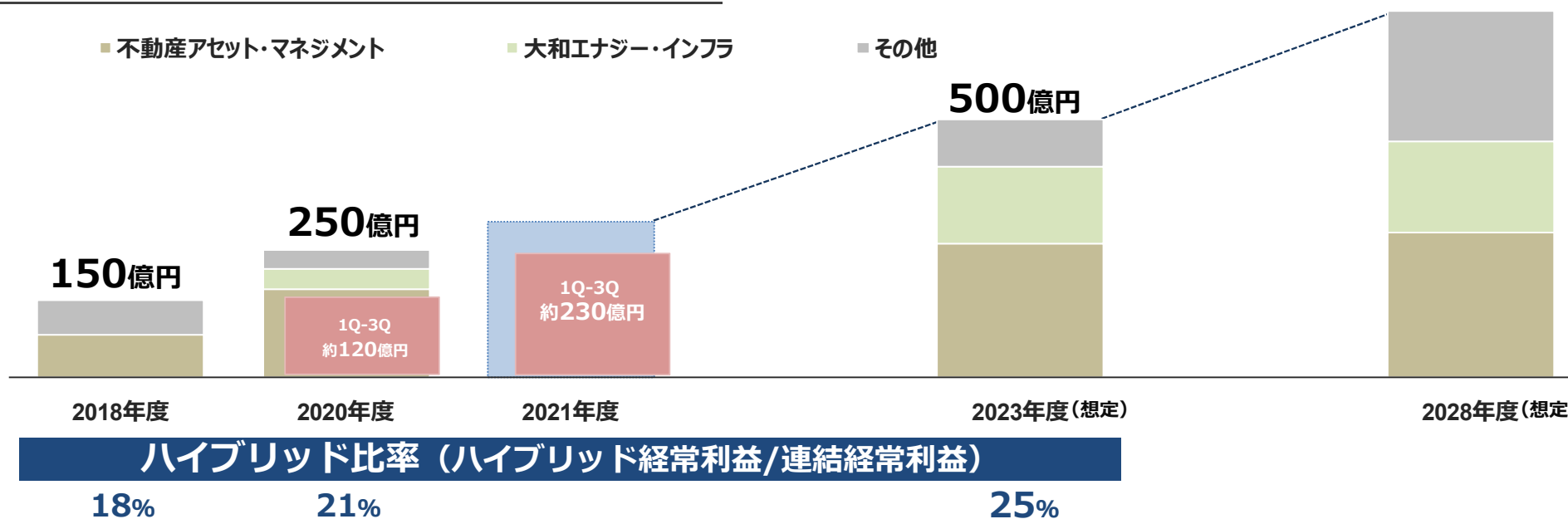
ハイブリッド戦略

収益源の多様化

×

証券業との
シナジー拡大

ハイブリッド経常利益



3. 個別戦略



グループにおけるハイブリッドビジネスの位置づけ

ハイブリッドビジネスと証券業における収益の相関性は相対的に低い一方、高いシナジーが期待される



ハイブリッド戦略

=

収益源の多様化

×

証券業との
シナジー拡大

証券業と低い相関関係

会社名	類似業種	証券業との相関係数
不動産アセット・マネジメント※	不動産業	0.5
大和エネルギー・インフラ	電力業	0.07

証券業と高いシナジー



ハイブリッド事業のアセットを
対象とした商品を提供

更なるお客さま
満足度の向上へ

シナジー（例）

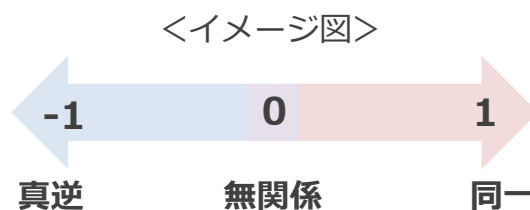
- REIT PO/IPO 募集販売
- 不動産小口化商品の提供
- 再生可能エネルギーファンドの提供



お客様ニーズに基づいた
総資産アプローチ

「相関係数」とは？

・ 2つの数字の関係性の強さを-1～1で表記したもの。



3. 個別戦略



不動産AM関連ビジネス：運用資産の多様化・拡大

安定的な収益拡大に向けた運用資産の多様化・拡大を継続

2009年

オフィス



2014年

ヘルスケア施設



2020年

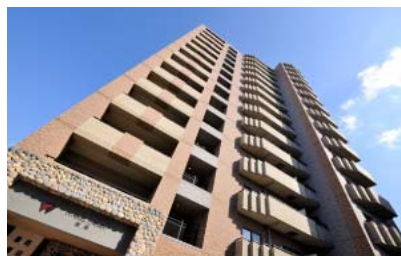
物流施設



運用対象資産の拡大

2013年

住宅



2018年

ホテル



3. 個別戦略

不動産AM関連ビジネス：プロフェッショナル人材・事業目標

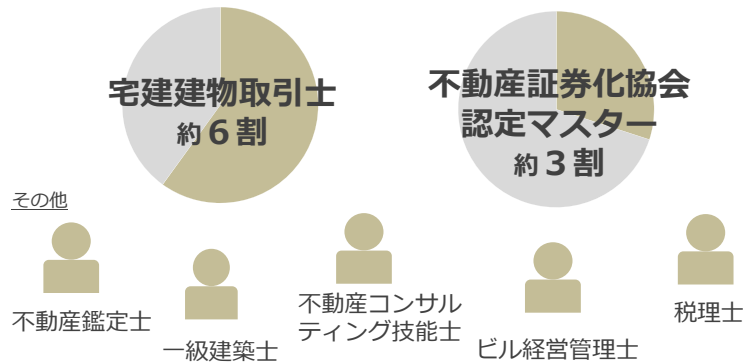


2023年度の運用資産残高目標は1.5兆円、経常利益目標は260億円
 着実な運用と成長に向けた取組みにより運用資産残高拡大を目指す

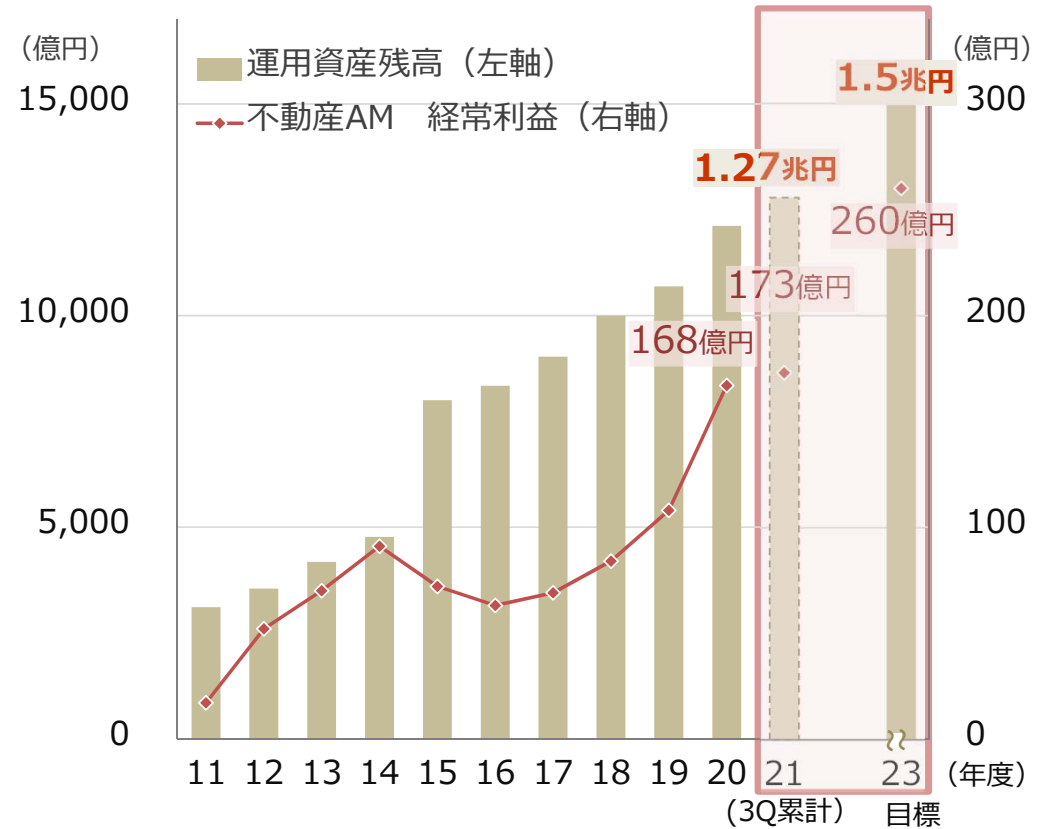
プロフェッショナル人材



■ 従業員に占める資格保有割合（2021年3月末時点）



運用資産残高・経常利益推移*



3. 個別戦略

リテール部門とのコラボレーション



ハイブリッド戦略で拡大した事業領域のアセットを金融商品化し、多様化したお客様ニーズに最適な商品・サービス・ソリューションを提供

リテール向け不動産小口化商品

■2021年4月にリテール向け不動産小口化商品の組成・販売を行う大和証券リアルティを設立



3. 個別戦略

大和エネルギー・インフラ：再生可能エネルギー分野における取組み



太陽光発電など、クリーンな電源の供給を通じて社会課題の解決を目指す

再生可能エネルギー 主な投資実績（国内）



バイオマス発電（山形県米沢市）



太陽光発電（香川県観音寺市）



太陽光発電（北海道白老町）

- 太陽光
- バイオマス

3. 個別戦略

大和エネルギー・インフラ：新たな投資商品の提供



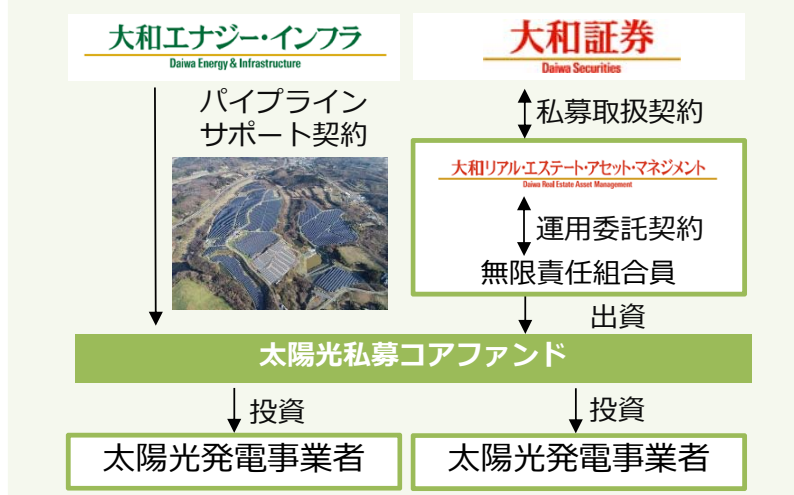
再生可能エネルギーファンドを大和証券のお客さまに提供

資本効率を重視した循環的拡大

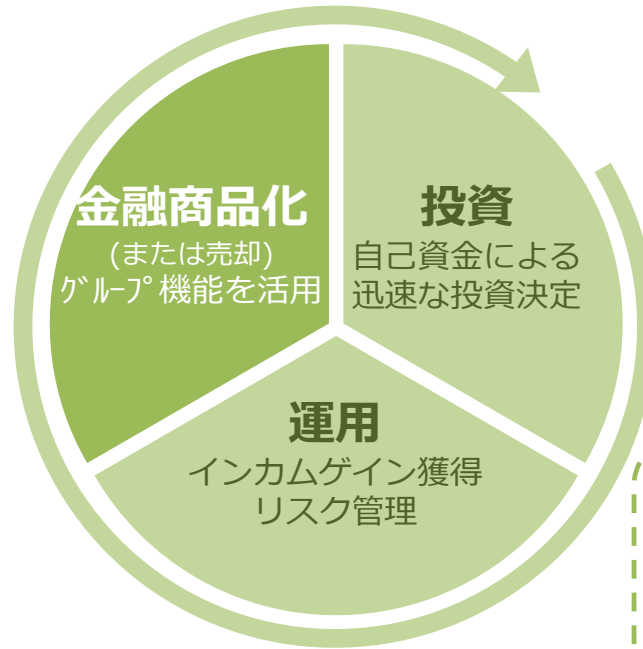
太陽光私募コアファンドの組成

投資対象	稼働済の太陽光発電事業
アセット総額	700億円規模（ファンド総額：約160億円）
投資家	国内の機関投資家 （年金基金、生命保険会社を含む複数）

スキーム図（グループ機能の活用）



経験豊富な投資チーム



フロント部門の
約6割は
経験豊富なプロフェッショナル

< 外部プロフェッショナルの採用 >

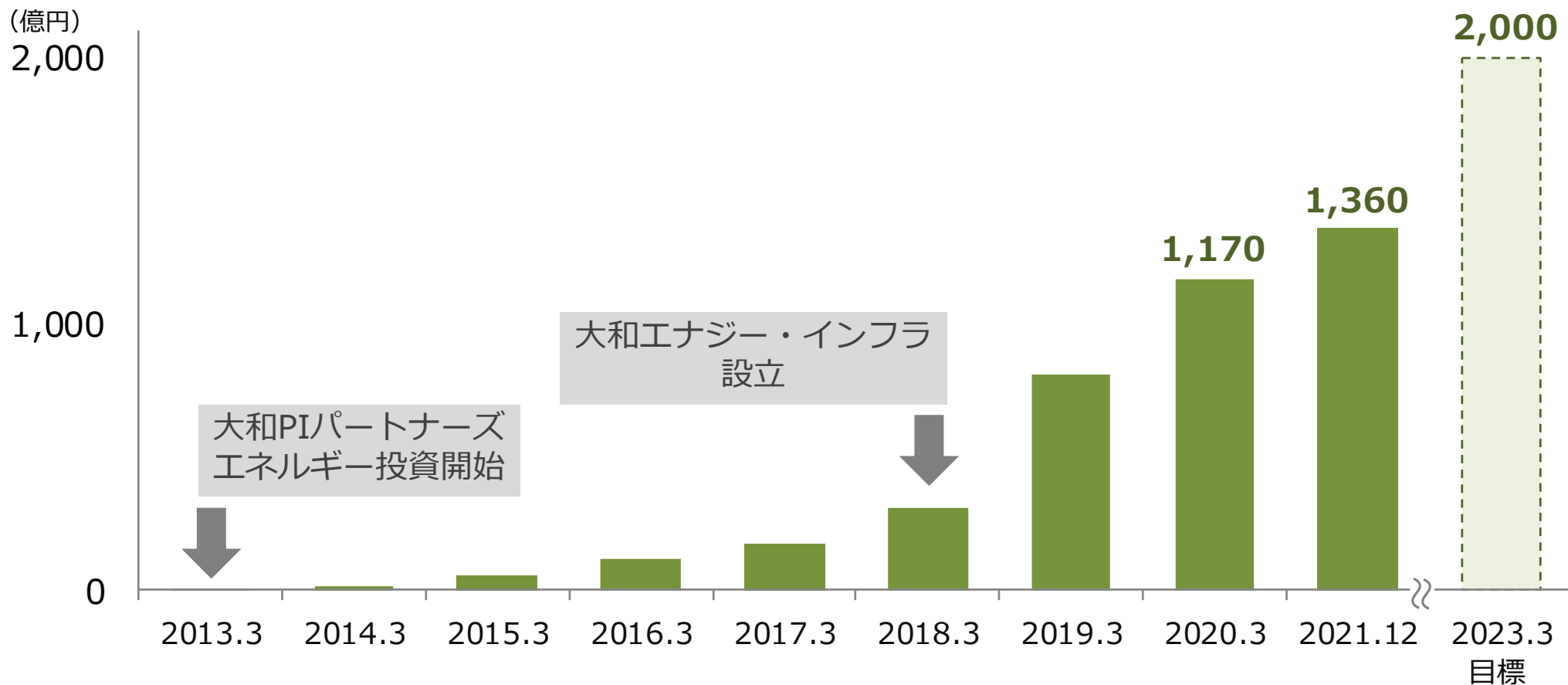


3. 個別戦略



大和エネルギー・インフラ：投資残高の推移

中長期の運用資産残高目標3,000億円を向けて投資対象を拡大
2021年度12月末時点で1,360億円の投資残高を積み上げ



4. 株主還元

Daiwa Securities Group Inc.

4. 株主還元

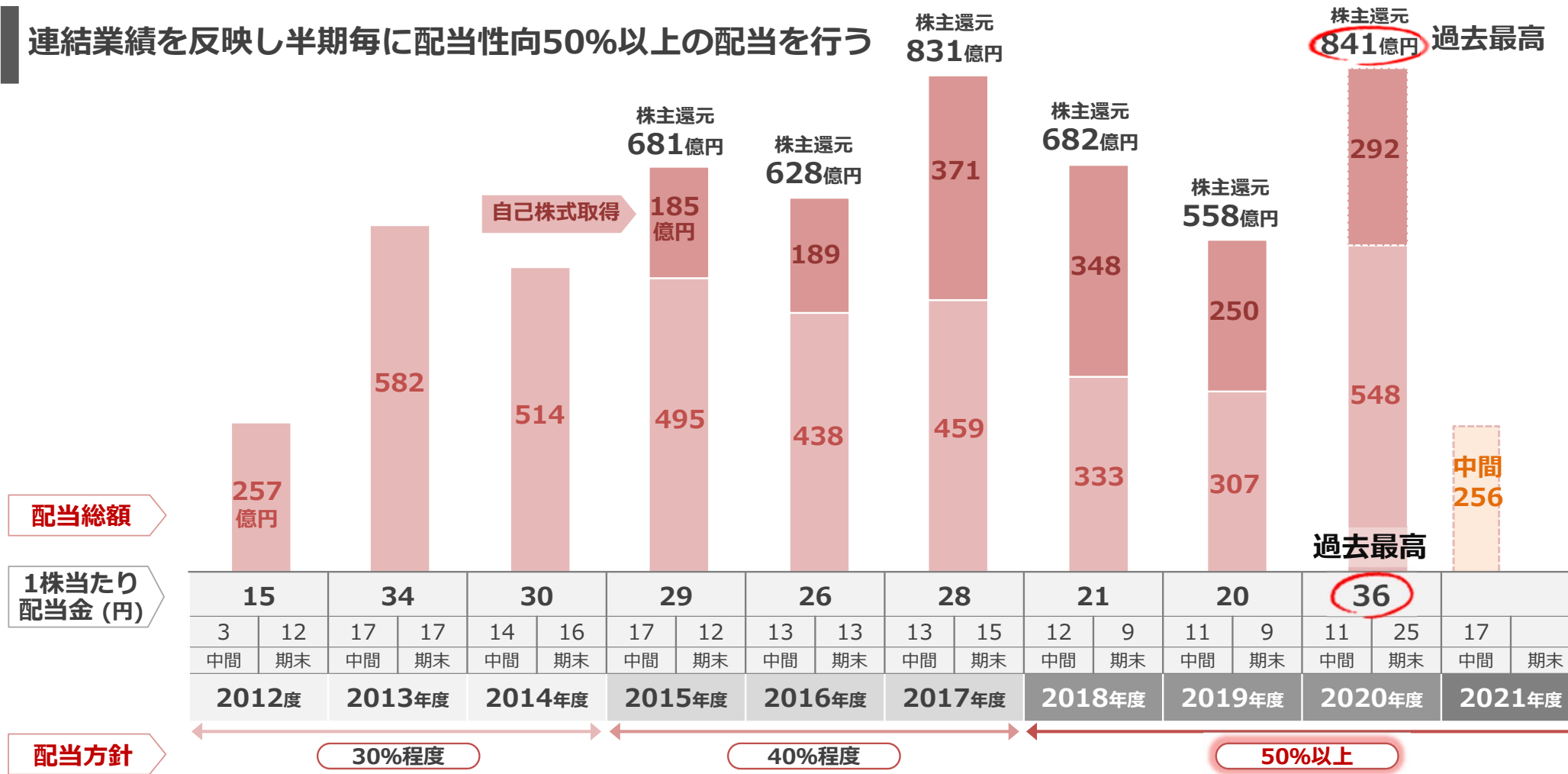
株主還元の方針



連結業績を反映し半期毎に配当性向50%以上の配当を行う

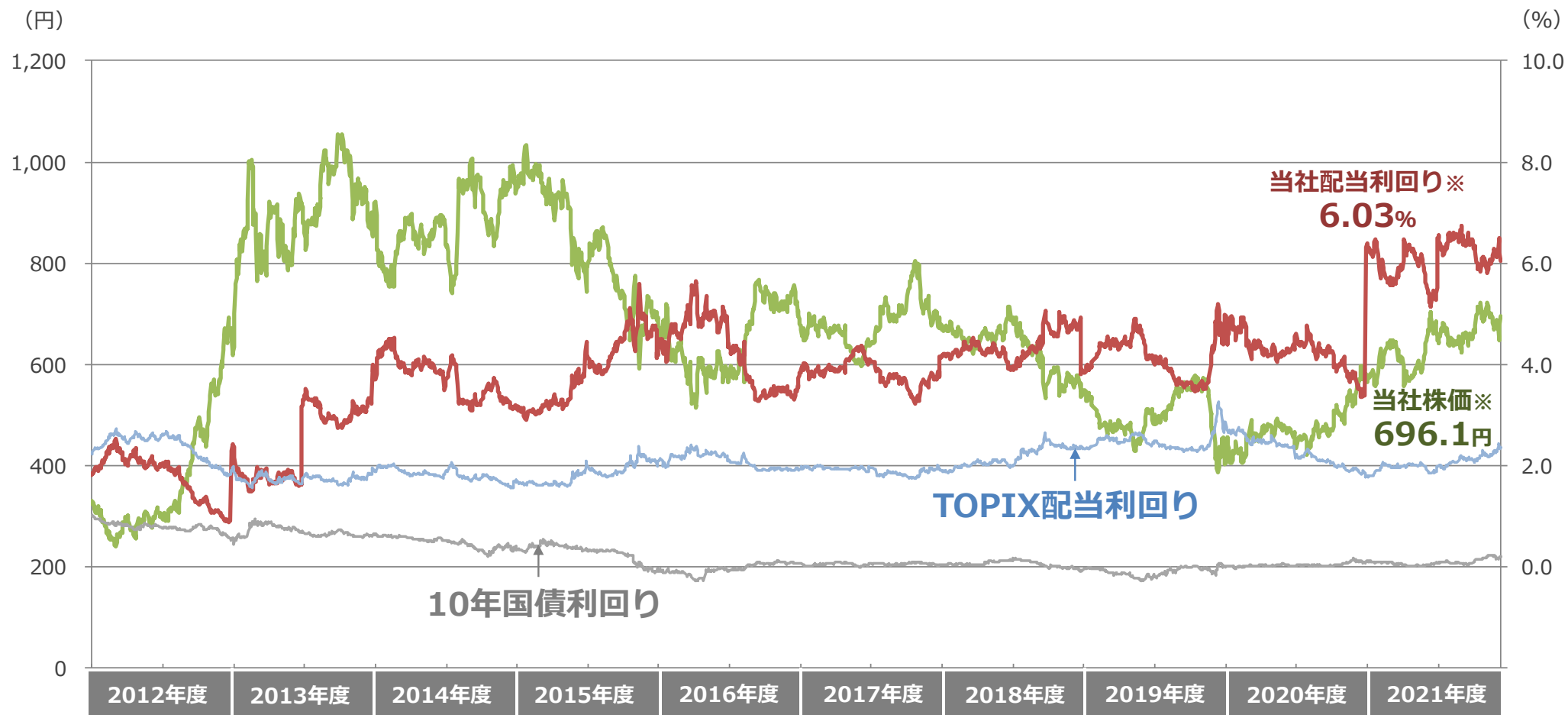
株主還元
831億円

株主還元
841億円 過去最高



4. 株主還元

配当利回り



4. 株主還元

株主優待制度



株主優待品カタログから、お好きな優待品をお選びいただける株主優待を年2回実施

保有株式数	選べる優待品	株主優待品カタログ (30品掲載)	株主優待品カタログ 掲載例	
1,000~2,999株	1点	2,000円相当		<p>ゴディバ クッキーアソートメント</p> <p>アサヒ スーパードライ</p>
3,000~4,999株	2点	4,000円相当		<p>スープストックトーキョー 人気のスープセット</p> <p>高橋畜産 蔵王牛 すき焼き</p>
5,000~9,999株	1点	5,000円相当		
10,000株以上	2点	10,000円相当		

4. 株主還元

株主優待制度の拡充



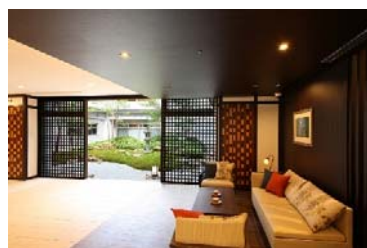
グループ会社が保有・運営するさまざまな施設でも株主優待をご利用いただけます

高齢者住宅の入居時費用割引

グッドタイムリビング
大和証券グループ

ご優待内容

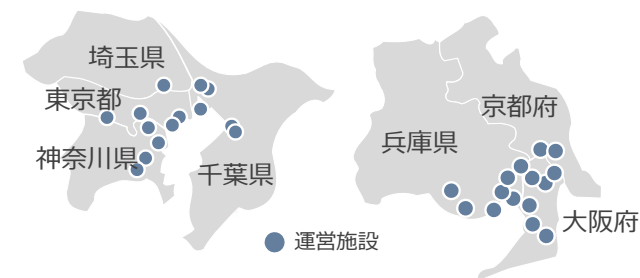
- 入居時費用から、50万円を割引



首都圏・関西圏 33施設

—首都圏—

—関西圏—



ホテル・ゴルフ場の割引/優待

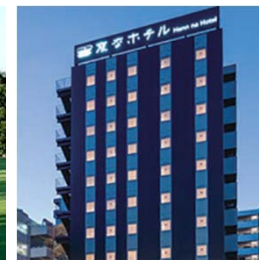
大和リアル・エステート・アセット・マネジメント
Daikwa Real Estate Asset Management

大和PIパートナーズ
Daikwa PI Partners

ご優待内容

- ご宿泊料割引
- レストランご利用割引
- ワインフルボトルをサービスなど

全国 19ホテル・2ゴルフ場



4. 株主還元

今後のIRスケジュール



時期（予定）	スケジュール概要
3月29日	権利付き最終日
4月下旬	決算発表（2021年度第4四半期）
6月上旬	期末配当支払・配当通知発送 「定時株主総会招集ご通知」（「議決権行使書」同封）発送 「株主優待品カタログ」発送
6月下旬	第85回定時株主総会
7月下旬	決算発表（2022年度第1四半期）
7月下旬	株主優待品申込締切
9月28日	権利付き最終日（中間）

4. 株主還元

株主・投資家の皆さまへの情報発信



IRウェブサイト

【URL】 <https://www.daiwa-grp.jp/>



理想の未来は、デザインできる。

大和証券グループ

大和証券グループの取り組み

個人投資家の皆さまへ

株主・投資家の皆さまへ

中田 誠司

- 大和証券グループについて
- 個人投資家向け会社説明会について
- SDGs推進について
- 業績について
- 株主優待・配当金・株主總會
- 最新のIR資料

ダイワインターネットTV

【URL】 <https://www.daiwatv.jp/>



日経ヴェリタス 会社別ランキング 3連覇

大和証券グループ 会社紹介

大和証券グループ本社・2021年度 経営戦略説明会

統合報告書



YouTubeで動画も配信

大和証券グループ
統合報告書2021
のポイント

制作：大和証券グループ本社 IR室
ナレーション：マーク・大冨多

【URL】 <https://www.daiwa-rp.jp/ir/toolkit/annualreport/>

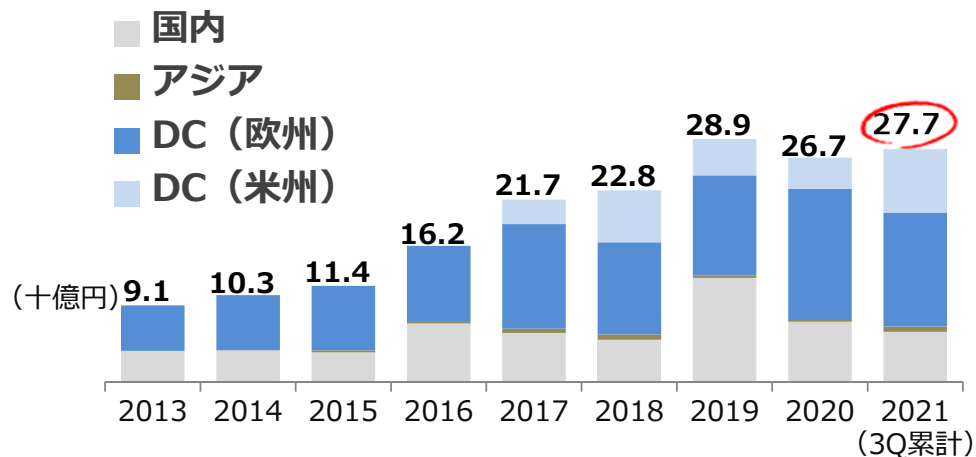
参考資料

Daiwa Securities Group Inc.

ホールセール部門：グローバル・インベストメント・バンキング（M&A）

国内外で幅広いテーマでM&Aニーズが拡大しており、対応力強化
中期的にはグローバルのミッドキャップマーケットでのトッププレイヤーを目指す

M&A実績



実績拡大の要因

企業の旺盛なニーズ

- ✓ 成長の活路を求めグローバルに展開する企業によるクロスボーダーM&Aニーズ
- ✓ 新型コロナウイルスを契機とした業界再編や事業再編ニーズ



当社の対応力強化

- ✓ 国内案件は豊富なリソースや全国のネットワークを活用
- ✓ 前中計期間の欧米での買収により、グローバルM&Aネットワークを一層強化

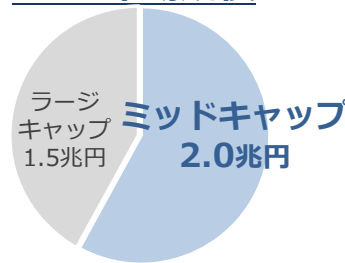
グローバルM&Aネットワークの強化

- 2021年2月 タイに現地提携先 9Basil 等と共同出資で合弁会社DC Advisory (Thailand) を設立



ミッドキャップM&Aに注力する会社では
トップクラスのグローバル4極ネットワーク

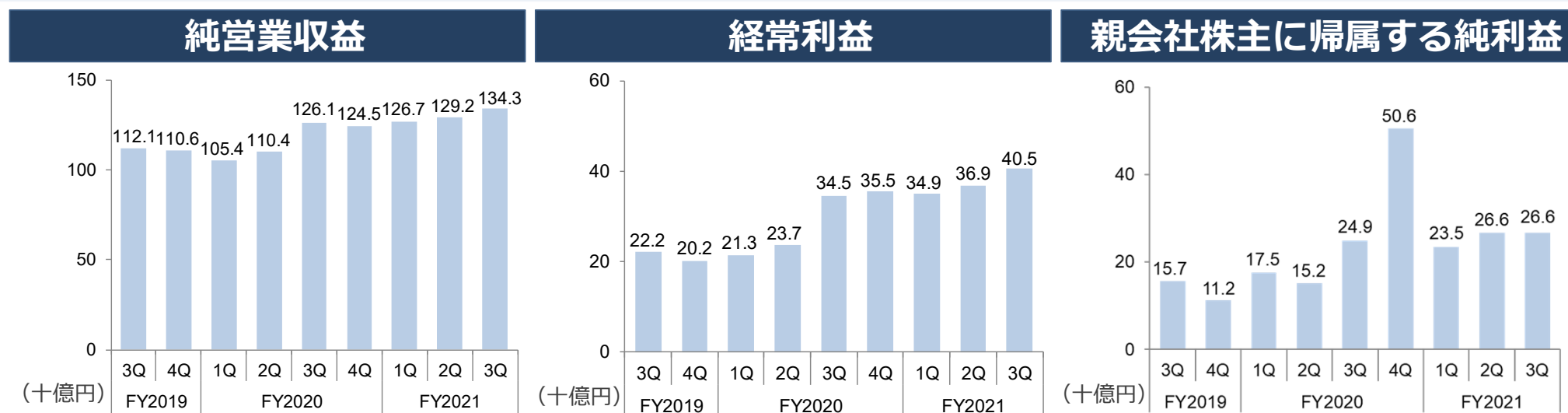
M&A市場規模*



- ✓ 当社が強みを持つマーケット
- ✓ 引き続き注力分野と位置付け

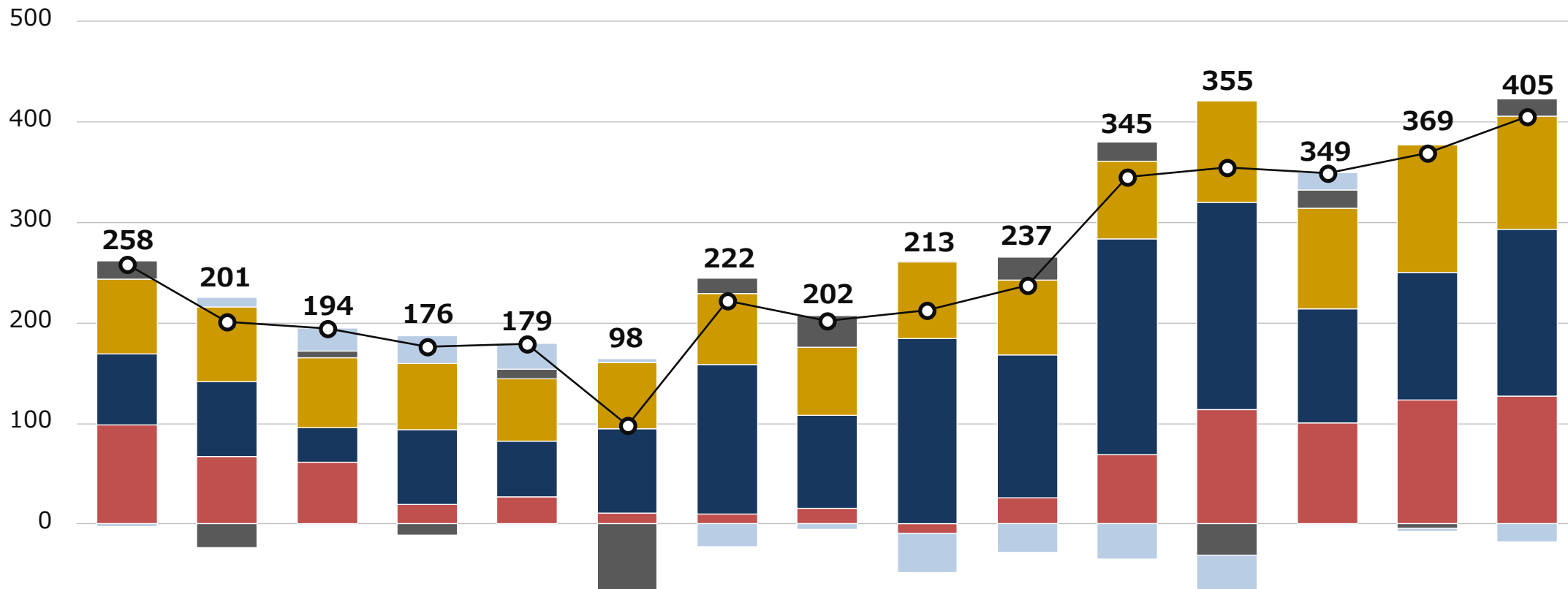
2021年度第3四半期決算概要

グループ連結業績	2021年度 第3四半期累計	前年同期比	2021年度 第3四半期	前四半期比
純営業収益	3,903億円	+14.1%	1,343億円	+4.0%
経常利益	1,124億円	+41.2%	405億円	+9.6%
親会社株主に帰属する純利益	769億円	+33.1%	266億円	+0.2%



経常利益の推移

(億円) ■ リテール部門 ■ ホールセール部門 ■ アセット・マネジメント部門 ■ 投資部門 ■ その他・調整 ○ グループ連結合計



2018年度				2019年度				2020年度				2021年度		
第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期



大和証券グループ本社 経営企画部IR室

E-mail: ir-section@daiwa.co.jp

URL: <https://www.daiwa-grp.jp/ir/>